

編集後記

第十一号をお届けします。石井鶴三、北杜夫関連論文をはじめ、今号もさまざまなテーマについてご寄稿いただきました。また、MLA 連携の取り組みの一つである「信州 知の連携フォーラム」や県立長野図書館との交流研修報告など、本学附属図書館が関わった多様な取組及びコロナ禍の影響を大きく受け続けた中で新たに実施した学習支援オンラインイベントなど館内での新たな取り組みを紹介することができました。執筆者の方々に、厚く御礼申し上げます。

出版委員会にも大きな動きがありました。平成 27 年 10 月から 6 年間館長を務められた渡邊匡一館長が任期満了により退任され、東城幸治新館長を委員長にお迎えしました。また、事務局には校正作業メンバーとして塚田理絵さんが加わりました。新しいメンバーが加わった一方で、創刊号から発行に尽力くださいました荻原千代さんが今号をもって卒業されることとなりました。これまでの荻原さんの大きな功績に感謝申し上げるとともに、引き続き、編集作業を円滑に進めるべく励んで参ります。

武田 佳代